

# 南魚沼版 CCRC の検討経過

2015. 7. 1

資料 1

第 1 回南魚沼版 CCRC 推進協議会

地域内外の産学金官連携により推進

**2014.10.27 第1回勉強会 60人**

「CCRC」とは？

- ・「南魚沼版CCRCのビジョン」
- ・「地方創生との関連性」

**2014.12.24 第2回勉強会 70人**

南魚沼版CCRCの可能性

- ・南魚沼版CCRC魅力WS

**2015.02.18 第3回勉強会 80人**

南魚沼版CCRC実現に向けて

- ・第2回勉強会WSのまとめ
- ・推進スケジュール・組織化計画

**2015.03.07 地方創生セミナー**

**30人**

- ・2030年の世界と日本の課題
- ・CCRC検討状況報告と意見交換

第 3 回勉強会



参加者

国際大学、北里大学保健衛生専門学院

八海醸造(株)ほか市内企業、セントラルスポーツ(株)ほか市外企業

北越銀行(株)ほか市内外金融機関

新潟県、(一社)健康ビジネス協議会

市内関係者(女子力観光プロモーションチーム、既移住者、

メディカルタウン研究委員会、社会福祉法人、議会、南魚沼市)

報道関係者

# 日本版 CCRC の検討経過

## 「日本版 CCRC 構想」有識者会議

### 第1回（2月25日）

○日本版 CCRC 構想を巡る状況等

- ・ 米国・国内における動向
- ・ 健康長寿・予防の推進

○日本版 CCRC 構想の基本コンセプト

### 第2回（3月17日）

○主な論点に関する討議（Ⅰ）

○先進事例等のヒアリング

※ 各地域の意向調査を開始

### 第3回（4月24日）

○主な論点に関する討議（Ⅱ）

○地方における取組等のヒアリング

### 第4回（5月14日）

○有識者からのヒアリング

○各地域の意向調査結果

○「日本版 CCRC 構想（素案）」に関する討議

### 第5回（6月1日）

○「日本版 CCRC 構想（素案）」に関する討議

### 第6回～

（第6回 7月3日）

○更に議論が必要な論点に関する討議

※ 6月以降月一回程度開催予定。

必要に応じてヒアリング等を実施。

日本版 CCRC 構想（素案）

「まち・ひと・しごと創生基本方針」への反映

7～8月目途 「日本版 CCRC 構想」の中間報告

年内目途 「日本版 CCRC 構想」のとりまとめ

### 日本版 CCRC 構想有識者会議委員

◎：座長（敬称略・五十音順）

池本 洋一	SUUMO 編集長
受田 浩之	高知大学副学長
河合 雅司	産経新聞論説委員
神野 正博	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院理事長
袖井 孝子	お茶の水女子大学名誉教授
園田 真理子	明治大学理工学部建築学科教授
辻 一郎	東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野教授
南 砂	読売新聞東京本社取締役調査研究本部長
◎ 増田 寛也	東京大学公共政策大学院客員教授
松田 智生	三菱総合研究所プラチナ社会研究センター主席研究員
森田 朗	国立社会保障・人口問題研究所所長

### 「更に議論が必要な論点」における基本的な視点

1. ソフト面：地方移住の支援・生活を支援するためのプログラム提供・「継続的なケア」・地域社会（多世代）との共働のためのきめ細かな支援・IT活用等効率化
2. ハード面：自立生活居住環境・地域資源や既存ストックの活用
3. 事業運営面：透明性・安定性（居住者の参画・情報公開等）・多様な事業主体、事業の継続性の確保・高齢者の希望の実現
4. 政策支援： 関連制度等による支援・「地方創生特区」「地域再生計画」の活用